



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月5日

上場会社名 株式会社UACJ 上場取引所 東
 コード番号 5741 URL http://www.uacj.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 美幸
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 上田 悟郎 TEL (03)6202-2600(代)
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	462,756	△7.0	5,632	△59.5	1,349	△81.1	560	△53.3
2019年3月期第3四半期	497,440	8.5	13,917	△40.3	7,125	△54.4	1,200	△88.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △94百万円 (ー%) 2019年3月期第3四半期 2,869百万円 (△81.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	11.61	ー
2019年3月期第3四半期	24.87	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	762,608	202,523	24.6
2019年3月期	807,224	206,204	23.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 187,845百万円 2019年3月期 190,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	0.00	ー	60.00	60.00
2020年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2020年3月期（予想）	ー	ー	ー	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 詳細につきましては、本日(2020年2月5日)公表しました「特別損失の計上、通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	625,000	△5.5	7,500	△49.6	2,000	△67.7	1,000	△10.4	20.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 詳細につきましては、本日(2020年2月5日)公表しました「特別損失の計上、通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	48,328,193株	2019年3月期	48,328,193株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	96,343株	2019年3月期	91,347株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	48,234,739株	2019年3月期3Q	48,240,192株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、前年度後半からの米中貿易摩擦の影響に伴い中国経済の減速感が鮮明になっています。これによりIT・半導体市況の悪化等が引き続き継続しており、軟調に推移しました。

我が国経済については、世界経済不振に伴う、輸出の減少による悪化を支えていた内需も、足元では、消費増税の反動及び自然災害の影響をうけ、景気減速感が強まっており、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループの連結業績については、販売数量は増加したものの、地金価格の下落等により、売上高は462,756百万円（前年同期比7.0%減）となりました。一方、損益については、棚卸評価関係が悪化したこと等により、営業利益5,632百万円（同59.5%減）、経常利益1,349百万円（同81.1%減）となりました。また、伸銅品事業売却に伴う構造改革損失の計上や、当社子会社であるUACJ Australia Pty. Ltd. が保有しているBoyne Smelters Ltd.の株式および本社に対する貸付金について評価損を計上したものの、繰延税金資産を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は560百万円（同53.3%減）となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

アルミ圧延品事業

アルミニウム圧延品業界については、板類の国内需要では、飲料缶は前年同期比微減となりました。自動車関連向け需要は底堅く推移しました。また、電気機械や精密機械関連、液晶・半導体製造装置等の需要は低調であり、板類全体数量としては前年同期比で減少となりました。押出類に関しては、バストラック向けが微増しましたが、自動車熱交・産業機器・鉄道車両・半導体の分野が減少し押出類全体でも前年同期比で減少となりました。

当社グループの国内向売上数量は、前年同期比で板類は減少となりました。缶材はほぼ前年並み、自動車材は堅調でしたが、その他の箔用材料や電気機械、精密機械関連、液晶・半導体製造装置用厚板等で減少し、また押出類でも減少しました。一方、海外向売上数量では、Tri-Arrows Aluminum Inc.の缶材・自動車パネル用アルミニウム素材等の増加やUACJ (Thailand) Co., Ltd.での缶材増加に支えられ、当社グループのアルミ圧延品総量では前年同期を上回りました。

このような販売状況のもと、販売数量は増加したものの、地金価格の下落等により、当第3四半期連結累計期間のアルミ圧延品事業の売上高は375,689百万円（前年同期比6.2%減）となりました。営業利益については、棚卸評価関係が悪化したこと等により、7,001百万円（同54.9%減）となりました。

伸銅品事業

伸銅品事業については、2019年9月に譲渡したため、当第3四半期連結累計期間の伸銅品事業の売上高は22,914百万円（前年同期比36.2%減）、営業利益は373百万円（同73.3%減）となりました。

加工品・関連事業

電池材・空調関連品は堅調に推移したものの、日本、及び米国の加工品事業の売上が減少したこと等により、当期の加工品・関連事業の売上高は143,768百万円（前年同期比2.5%減）となりました。一方、営業利益はコスト削減等により2,525百万円（同4.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

伸銅品事業の売却等により、当第3四半期連結会計期間末の資産については762,608百万円（前連結会計年度末比5.5%減）、負債については560,085百万円（同6.8%減）となりました。

純資産については、利益剰余金の減少等により、202,523百万円（同1.8%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①売上高、営業利益及び経常利益

足元のアルミ地金市況が前回予想時の想定より下落したことで棚卸評価関係が更に悪化したこと、米中貿易摩擦の長期化に伴い国内事業環境が悪化していること等により、2019年8月1日付「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」、2019年8月2日付「(訂正)「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」の一部訂正について」にて公表しました通期連結業績予想を修正いたしました。

売上高は625,000百万円、営業利益は7,500百万円、経常利益は2,000百万円を見込んでおります。

②親会社株主に帰属する当期純利益

前回予想時においては、構造改革の実行による損益への影響の合理的な算定が困難な状況であることから未定としておりましたが、特別損益の計上及びそれらに係る税金費用の見直し等により、合理的な算定が可能となったため、公表することといたしました。

親会社株主に帰属する当期純利益は1,000百万円を見込んでおります。

③配当予想

安定的かつ継続的に配当を実施していく当社の基本方針に変更はありませんが、前回予想では未定としておりました2020年3月期の期末配当は、当社の業績及び今後の経営環境等を総合的に勘案した結果、1株あたり20円を予定しております。

詳細につきましては、本日(2020年2月5日)公表しました「特別損失の計上、通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,510	19,458
受取手形及び売掛金	145,217	117,223
商品及び製品	38,243	41,448
仕掛品	62,300	53,756
原材料及び貯蔵品	54,567	45,340
その他	21,528	25,404
貸倒引当金	△73	△72
流動資産合計	348,291	302,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	70,977	72,234
機械装置及び運搬具（純額）	117,002	133,422
土地	114,920	105,042
その他（純額）	59,829	56,572
有形固定資産合計	362,728	367,271
無形固定資産		
のれん	43,156	39,938
その他	12,835	11,296
無形固定資産合計	55,991	51,234
投資その他の資産		
投資有価証券	21,384	16,142
その他	18,902	25,478
貸倒引当金	△72	△72
投資その他の資産合計	40,214	41,547
固定資産合計	458,933	460,053
資産合計	807,224	762,608

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	122,535	110,360
短期借入金	61,601	65,148
コマーシャル・ペーパー	—	11,000
1年内返済予定の長期借入金	45,579	51,358
その他	43,555	38,702
流動負債合計	273,269	276,568
固定負債		
長期借入金	267,901	230,329
退職給付に係る負債	18,192	17,100
その他	41,658	36,088
固定負債合計	327,751	283,517
負債合計	601,020	560,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	52,277	52,277
資本剰余金	80,318	80,318
利益剰余金	51,337	49,002
自己株式	△307	△318
株主資本合計	183,624	181,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,670	1,458
繰延ヘッジ損益	△1,203	△1,334
為替換算調整勘定	6,950	6,528
退職給付に係る調整累計額	△44	△85
その他の包括利益累計額合計	7,373	6,566
非支配株主持分	15,206	14,678
純資産合計	206,204	202,523
負債純資産合計	807,224	762,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	497,440	462,756
売上原価	439,958	415,354
売上総利益	57,482	47,402
販売費及び一般管理費	43,565	41,770
営業利益	13,917	5,632
営業外収益		
デリバティブ評価益	393	679
その他	2,019	1,542
営業外収益合計	2,412	2,221
営業外費用		
支払利息	4,984	5,160
持分法による投資損失	3,032	—
その他	1,189	1,344
営業外費用合計	9,205	6,504
経常利益	7,125	1,349
特別利益		
投資有価証券売却益	725	531
その他	505	17
特別利益合計	1,230	548
特別損失		
関係会社株式評価損	—	5,367
構造改革損失	—	954
火災による損失	214	—
その他	767	799
特別損失合計	981	7,120
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,373	△5,223
法人税等	6,011	△6,207
四半期純利益	1,362	984
非支配株主に帰属する四半期純利益	162	424
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,200	560

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,362	984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△541	△212
繰延ヘッジ損益	△300	△334
為替換算調整勘定	2,853	243
退職給付に係る調整額	△84	△219
持分法適用会社に対する持分相当額	△421	△556
その他の包括利益合計	1,507	△1,078
四半期包括利益	2,869	△94
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,235	△247
非支配株主に係る四半期包括利益	634	153

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

① 連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間末において、株式会社UACJ銅管の株式を譲渡したことに伴い、同社及びその子会社である株式会社UACJ銅管販売、東洋フイツテング株式会社、UACJ Copper Tube (Malaysia) Sdn. Bhd. は、連結の範囲から除外しております。

② 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	352,389	24,413	120,637	497,440	—	497,440
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47,992	11,485	26,837	86,315	△86,315	—
計	400,382	35,898	147,474	583,754	△86,315	497,440
セグメント利益	15,524	1,397	2,414	19,335	△5,417	13,917

- (注)1. セグメント利益の調整額△5,417百万円には、たな卸資産の調整額1百万円、セグメント間取引消去△290百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,129百万円が含まれております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	326,073	15,597	121,086	462,756	—	462,756
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49,616	7,317	22,682	79,615	△79,615	—
計	375,689	22,914	143,768	542,371	△79,615	462,756
セグメント利益	7,001	373	2,525	9,899	△4,268	5,632

- (注)1. セグメント利益の調整額△4,268百万円には、たな卸資産の調整額52百万円、セグメント間取引消去△256百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,064百万円が含まれております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

- (1) 第1四半期連結会計期間より、新たに設置した自動車部品事業本部を「加工品・関連事業」に区分したこと
に伴い、前連結会計年度まで「アルミ圧延品事業」に含まれていた当該事業本部の売上高及び全社費用とし
て「調整額」に含まれていた当該事業本部の費用を「加工品・関連事業」に含めております。なお、当該変
更による影響は軽微であります。
- (2) 2019年9月に「伸銅品事業」を譲渡したため、「伸銅品事業」には第2四半期連結累計期間の売上高及び
セグメント利益を計上しております。